



上末っ子

令和4年11月30日

12月号

横浜市立上末吉小学校

～ 学び合い みとめ合い 一人ひとりが輝く上末っ子 ～

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamisueyoshi/>



学校ホームページ用QRコードです。
学校の様子をご覧ください。

「本気」のかっこよさ

校長 内田 宏平

サッカーワールドカップがカタールで行われています。出場国の選手はそれぞれに国民の期待や応援を受け、精一杯のプレイを見せてくれています。ワールドカップ7大会連続出場を果たした日本代表チームも熱戦を繰り広げています。ワールドカップに出場する国々は、さすがに強豪ぞろいです。なかなか簡単には勝たせてもらえませんが、29年前に「ドーハの悲劇」を味わっている一サポーターとしては、ワールドカップに出場する自国を応援できる幸せを感じながら、代表チームの健闘を称え、諦めないで声援を送り続けていきたいと思っています。来る2日（金）には決勝トーナメント進出をかけてスペインとの一戦が行われます！頑張れ！日本！

①



②



③



今回、日本と同じ予選E組に入った「コスタリカ」「スペイン」「ドイツ」の国旗です。どの国旗がどの国のものか分かるかな？

ドイツ⑤ コスタリカ② ドイツ①

さて、今大会の試合をテレビで見ている、私の心に強く響く場面がありました。それは、選手ではなく、ウェールズのサポーターの姿でした。ウェールズ代表のワールドカップ出場は1958年以来64年ぶりの出来事です。試合前、選手の健闘を祈って国歌を歌う場面。スタンドが映し出されると、そこには涙を流しながら熱唱するサポーターの姿がありました。64年分の思いを込めて、全身全霊でウェールズ代表チームを応援するそのサポーターの姿に、心が揺さぶられました。それは、「本気」だからこその迫力でした。「本気」だからこそのかっこよさでした。

日常生活の中で、「本気」になる場面はどのくらいあるでしょうか。「本気」はエネルギーを使います。特に、大人になると感情をコントロールする術が身に付くので、「本気」になる機会は減ってくるのかもしれませんが、「本気」でチャレンジすることの価値の高さは、忘れてはいけません！と私はウェールズサポーターの方から改めて学ばせてもらいました。

技術の発展とともに、先を予測するのが難しい時代がやってきます。しかし、どのような時代になっても「本気」のかっこよさは子々孫々伝え続けていくべきだと考えます。

今年度の登校日数も残すところ70日間を切りました。子どもたちが「本気」でチャレンジできる機会を学校でも意図的に創り出し、そのかっこよさを保護者や地域の皆様と共有させていただけたら幸いです。今月もよろしく願いいたします。

～ 児童生徒の健康観察について ～

日々の検温については、健康観察票で学校への報告をお願いしておりましたが、「横浜市立学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」改訂を受けて、12月からは当面、学校への報告は必要なくなります。健康観察票も学校からは配布いたしません。

報告は無くなりますが、健康観察については、学校と家庭が連携し、徹底していくことが大切です。引き続き、ご家庭では、登校前の検温や健康観察をしていただくようお願いします。学校では、児童が安心して学校生活を送れるよう、3つの密（密閉・密集・密接）の回避や、マスクの適切な着用、こまめな換気、手洗いなど基本的な感染症対策を継続していくとともに、学校生活での児童の健康観察を徹底してまいります。

なお、学級閉鎖時や学校行事実施前には、健康観察を強化していただくとともに、状況によっては、毎日の健康観察を報告していただく可能性もありますので、その際にはご協力をお願いいたします。